

名古屋大学

超高压電子顕微鏡施設見学会

開催趣旨：

名古屋大学では1965年に全国に先駆けて第1号50万ボルト電子顕微鏡が理学部に設置されたのを始めとして、1972年には工学部に100万ボルト電子顕微鏡が設置され、1982年には125万ボルト超高压電子顕微鏡が設置され、2010年には新型・世界唯一の「反応科学超高压走査透過電子顕微鏡」が設置されました。

この新しい反応科学超高压走査透過電子顕微鏡は、ガス環境セルと電子線プローブ結合型の大型顕微鏡であり、3次元観察機能、STEM、EELS 元素分析などの最新の機能を装備しており、これと大型ガスセルを組み合わせることにより、触媒反応、電池反応などの化学反応の観察や厚い試料の3次元観察など、これまでには不可能と思われてきた応用研究への活用が期待されています。

名古屋大学協力は、名古屋大学の超高压電子顕微鏡施設を産学官の研究者に幅広く利用していただくため、企業向け電子顕微鏡の見学・講習会を企画しました。見学会では、電子顕微鏡の基礎から最新の電子顕微鏡の応用例の紹介および企業様への各種顕微鏡の無償・有償ご利用案内をいたします。

見学会の後には、懇親会も開催します。沢山の方々のご参加を期待しております。

日時：4月26日（金）14:00～17:00

場所：名古屋大学 超高压電子顕微鏡施設 会議室

<http://hvem.nagoya-microscopy.jp/>

主催：名古屋大学協力は

共催：名古屋大学エコトピア研究所 超高压電子顕微鏡施設、文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム」高性能電子顕微鏡による反応科学・ナノ材料科学研究支援拠点

参加費：無料

プログラム：

1. 開会挨拶（14:00～14:05）

名古屋大学産学官連携推進本部連携推進部教授

名古屋大学協力は事務局長 武田 穰

2. 名古屋大学 超高压電子顕微鏡施設の概要（14:05～14:30）

名古屋大学 超高压電子顕微鏡施設長 教授 丹司敬義

3. 電子顕微鏡観察の基礎と応用（14:30～15:20）

名古屋大学 超高压電子顕微鏡施設 主席技師 荒井重勇

休憩（15:20～15:30）

4. 各種電子顕微鏡等の利用方法・意見交換（15:30～16:20）

名古屋大学 超高压電子顕微鏡施設 特任教授 春日部 進

5. 施設見学（16:20～17:10）

名古屋大学 超高压電子顕微鏡施設 主席技師 荒井重勇

①反応科学超高压走査透過電子顕微鏡

②収差補正電子顕微鏡

③試料作製装置など

6. 懇親会（17:10～18:00）

参加費：見学会・・・無料（会員、非会員、学生）

懇親会・・・会 員：無料

非会員、学生：1000 円

お申し込み・お問い合わせ：

●センター見学の都合上、先着 20 名様までとさせていただきます。

名古屋大学協力会事務局

電話／FAX：052-744-1987 e-mail：micro-25@sangaku.nagoya-u.ac.jp

<http://www.sangaku.nagoya-u.ac.jp/micro-25/>